

編集 後記

東京オリンピック2020大会が、COVID-19の世界的流行により1年遅れで開催されました。選手の活躍に、感動や勇気をもたらした皆さんも多いのではないかとお察し致します。一方、時を同じくして、COVID-19は変異株を蔓延させ、感染拡大の第五波を迎えることとなりました。この感染症流行に対して、引き続き公衆衛生的対応が求められるところです。

今号は、総説1編、原著3編、資料1編を掲載しています。COVID-19関連の報告が2編含まれています。

第1編は、医療・健康分野におけるスマートフォンおよびウェアラブルデバイスを用いた身体活動の評価について、現状と今後の課題が述べられています。情報通信網の高度化やセンサー技術の向上により、モバイルヘルスは私たちの身近なものとなりました。近い未来に、個人の健康管理だけでなく、身体活動評価の研究や社会サービスへ応用ができる技術であることがまとめられています。

第2編は、都民を対象とした、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間における予防行動の関連要因の報告です。第一波に相当する感染流行の緊急事態宣言下で、個人の考え方が予防行動に関連していることを示した貴重な研究結果です。

第3編は、行政保健師を対象に行われた地域DOTS実践の質の評価と関連要因の解明を目的とした調査結果です。個別的患者支援の活動を高めることが実践の優先課題であることを示しており、公衆衛生の原点である生活や背景を把握する必要性を示されました。

第4編は、新型コロナウイルス感染拡大の影響下における人々の食生活への心理的側面の変化と関連要因について検討されています。社会の二極化を反映するかのよう、食生活の優先度や関心度と社会経済的要因の関連が明らかにされました。

第5編は、減塩政策による循環器疾患予防とそのシミュレーションモデルを用いた医療経済的評価に関して、海外の研究を紹介されている資料です。減塩政策の評価に資する内容で、日本の根拠ある栄養政策につながる可能性が考えられました。

COVID-19との戦いは長期戦の様相を呈しています。読者の皆様の中には、この感染症対策の最前線でご対応をなされたり、ワクチン接種に関連した業務に携わられている方もいらっしゃると思います。一日も早い収束と、皆様のご健康を祈念しております。また、今号が示す論文が、読者のこれからの一助となれば幸いです。

(神田秀幸)

次号予告 (第68巻・第10号)

原著

妊娠期の母体喫煙と受動喫煙、生後の受動喫煙と子の喘息およびアトピー性皮膚炎罹患との関連：神戸市母子保健情報による疫学研究

……………吉田都美，他

母親の職種と出産後1年時までの児の死亡の関連：人口動態職業・産業別調査データより

……………鈴木有佳，他

Public health report

Settings of coronavirus disease 2019 transmission during community outbreak in Tsuchiura, Japan, November 2020 ……………Tsuyoshi OGATA, et al

資料

受動喫煙対策に関する法律・条例施行に伴う既存特定飲食提供施設の屋内客席喫煙ルールの現状および変更意向に関する調査……片岡 葵，他
札幌市におけるがん検診受診率の実態と低受診者集団の特徴……………高橋英章，他